

殿堂入り団体からのメッセー



過去の大会でゴールドグランプリを受賞し、殿堂入りしている2つの出展団体から熱いメッセージをいた だきました。

八戸せんべい汁研究所 事務局長 木村

『汁、研』が始めたB-1グランプリが、記念 すべき第10回大会に青森県に帰ってきたこと、し かも大の仲良しのバラゼミの街、十和田市で開催 されることは感慨深いです。

食によるまちおこしをムーブメントにして「全

国の地方を元気に! という当初からの夢が、一 つ一つカタチになっているのが何よりうれしい! 今回は、十和田市での開催ということで、僕ら 『汁、研』も気分はホスト団体です。大会期間中 は『汁、研』のブースばかりではなく、会場全体 を盛り上げられるように、これまで以上のおもて なしやパフォーマンスを頑張りたいと思います。

また、八戸市に立ち寄ったり、宿泊するかたが たにも、温かい八戸流のおもてなしでお迎えした いと準備を進めています。

十和田市はもちろんですが、上北・三八地域も 含めたオール青森で、「B-1グランプリの後も また来たい」と思ってもらえるように、みんなで 一緒に頑張りましょう!



福島県双葉郡浪江町

浪江焼麺太国

やしま

私たちは、震災以降、全国各地で避難生活を送っ ているので、大会の時に久しぶりに会います。

私たちがゴールドグランプリを受賞したことで、 散り散りに避難した被災者に『元気』と、浪江に いつか戻れるという『希望』を与えることができ ました。ふるさとを取り戻すその日まで頑張る覚 悟です。

2年前の北海道・東北大会では各ブースにゴミ がひとつも落ちていない事に驚きました。

学生が自らゴミを集めに行く、あの意識の高さ やアイディアに感動しました。十和田愛というか、 ハートが違っていました。

市民を巻き込み、誇りを持ってPRする姿勢、 愛Bリーガーに対する思いやり、事業に対する思 い付き、来たかたへのおもてなしなど、B-1を 通して人づくりをしていると感じました。

今大会も、みんなで一緒に地方の元気な姿を発 信していきましょう。十和田ならできます!

Let's Go!

大会前日のパレードのシミュレーションを兼ね て、大会開催10日前に、商店街をプレパレードし ます。

また、大会の上位3団体に贈呈される『箸のト ロフィー』、副賞の『南部裂織の箸袋兼卓布』を お披露目します。



市内の小学生が、出展する62団体の地域や、ま ちおこし活動について学習し、壁新聞をイメージ したのぼり旗を作成しました。

完成したのぼり旗は、秋まつりでお披露目。62 本ののぼり旗を小学生が持ってパレードし、大会 をPRします。

また、小学生の"愛"のこもったのぼり旗は、 市民交流プラザに提示した上で、各団体に届けら れます。

とき 9月13日(日) 午後2時~ ところ 三本木大通り

> (旧国道4号) ▲のぼり旗を作成する東小 学校児童

Welcome!!

おもてなしの心で十和田の魅力発信

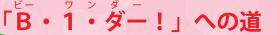
今大会では、市内と近隣の市町村から2日間で、 延べ約5,500人のボランティア・スタッフの協力を いただきます。ボランティア・スタッフの皆さんに は、会場案内、出展者ブースでの行列の整理、会場 清掃などでご協力をいただきます。

平成25年9月に行われた『北海道・東北B-1グラ

ンプリin十和田』では、十和田市のおもてなしがと ても高く評価されました。

今回も、さらにパワーアッ プしたおもてなしで、全国に 十和田市の魅力を発信しまし ょう!





「B・1・ダー!」の掛け声で 料理提供が始まります



大会への願いを込めた風船を青空



6月22日 大会で披露する紙芝居『八之太郎と南祖坊』の取り組みが始まりました



会上位3団体に贈呈され る箸袋兼卓布を織り上げ



前売り販売がスタート! 特設会場(アートステーショントワダ)では、先着50人にバラ焼キッズが収穫 した玉ネギなどが配られました。





兼卓布をお披露目!

秋まつり

6月26日 中学生への 『おもてなし講演会』が 始まりました



7月13日 『豊川いなり寿 司で豊川市をもりあげ隊』 によるまちおこし・ふれあ い授業を行いました



ドします♪

2015 10/3-4 青森県十和田市

7月2日 市タクシー協 会へ大会PRマグネット を贈呈しました



7月12日 出展団体が大会会 場周辺の清掃を行いました





7月11日 出展団体集結!ウマジン(被り物) 7月8日 三本木農業高校で三本木・東・松陽小学校のをハート型に配して「十和田に愛にいこう!」 児童が玉ネギを収穫しました

